

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立 入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 基礎問題の正答率は、4年生は目標値より上回り、5年生と6年生は目標値を下回った。
- ・ 活用問題の正答率は、4年生は目標値より上回り、5年生と6年生は目標値を下回った。
- ・ 興味や関心を高めるために、体験的な活動やICTの活用、学習規律の徹底を関連付けして授業に取り入れ、課題を解決していく学習を行ってきたことにより、関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・ 3年生の学習では、大田区内の紹介活動や歴史学習に意欲的に取り組めたが、資料の読み取りや仕事への理解については、課題がある。
- ・ 4年生の学習では、資料を的確に読み取り、日常生活と結びつけながら自分の考えをもち、表現することに課題がある。
- ・ 5年生の学習では、産業についての学習や地図帳の読み取りに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値を6.2ポイント下回った。	/	/
第5学年	目標値を1.9ポイント下回った。 達成率は昨年度より16.5ポイント下降した。	令和4年度の4年生の目標値を4.2ポイント上回った。	/
第6学年	目標値を7.5ポイント下回った。 達成率は昨年度より10.3ポイント下降した。	令和4年度の5年生の目標値を2.8ポイント下回った。 達成率は昨年度より12.5ポイント下降した。	令和3年度の4年生の目標値を1.8ポイント下降した。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生は、目標値を7.8ポイント下回った。 ・ 「地域や市の様子」では、四方位の理解や地図の読み取りの定着が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生は、目標値を3.6ポイント下回った。 ・ 「市の様子の移り変わり」では、写真や資料をもとに様子の変化を表現することは正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生は、目標値を4.3ポイント下回った。 ・ 自ら学ぼうとする意欲を身に付けるための工夫を活動の中で行っていく必要がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を1.9ポイント上回り、6年生は6.9ポイント下回った。 ・5年生の「生活環境を支える活動」では、飲料水の確保や廃棄物の分別などの理解は定着している。6年生は「工業生産」について工業地帯や日本の輸出入品についての正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を1.6ポイント上回り、6年生は9ポイント下回った。 ・5年生は「特色ある地域の様子」について、資料をもとに考えられている。6年生は「産業と情報の関わり」について、情報活用の現状、情報発信・受信の注意点についての表現が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を0.4ポイント上回り、6年生は0.2ポイント下回った。 ・5, 6年生ともに、目標値程度の達成ができています。

3 授業改善のポイント（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・地図の正確な読み取りを確認する活動を取り入れる。方位の見方を確認し、基礎を定着させる。 ・必要な資料を選定して提示し、読み取れることを児童に考えさせ、検討し合う機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を自分の生活に置き換えて考えさせ、自分の考えをもち、表現する活動に取り組む。 ・必要な写真や資料を自ら読み取り、一人学びを設定する。ペア学習、グループ学習で自分の考えを深めたり、広げたりする機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や実物に触れるような体験的活動に多く取り組む。 ・生活と学習の結び付きを意識しながら、自らの問題として感じることができるようにする。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめとして、学習したことを復習する活動を取り入れる。また、地図を読んだり資料から社会的事象を読み取ったりする活動を設定し、全体で正しく読み取れているか確認する。 ・社会的用語を身に付けるために用語を用いて説明する場を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で社会科に関わる事象を話題に取り上げ、既習の知識の確認を随時行う。さらに習得した知識を活用しながら、キーワードを使って文章にまとめるなどの表現活動に取り組む。 ・調べたことに自分の考えを加える一人学びを設定する。ペア学習、グループ学習を取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりする機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験を伴う学習やゲストティーチャーによる学習をできるだけ多く取り入れる。 ・単元の学習内容に応じて視聴覚教材を活用する。社会的事象を生活と関連させたり、「なぜ」という疑問を大切にされた問題解決型学習を通して、学ぶ意欲を継続させたりした授業を行う。